

JA全農ウィークリー

J A Z E N - N O H W E E K L Y



2面

泥だらけで
「田んぼの生きもの調査」
(山梨県本部)

2面

「親子で気ままな
バスツアー」開催
(富山県本部)

Web版
JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!

泥だらけで「田んぼの生きもの調査」

児童たちが農業と環境、生物多様性の大切さ学ぶ

山梨県本部

山梨県本部は7月に県きょうなん南農務事務所と協力して峡南地域の小学校4校で「田んぼの生きもの調査」を行いました。

全農は、農業と環境の深い関わりや生物多様性保全の大切さを学ぶ活動として「田んぼの生きもの調査」を実施しています。田んぼにすむ生きものを調べ、これからの日本の農業や食と環境についての理解と関心を高めています。

調査に参加した児童たちは、短い時間の中で泥だらけになりながら、田んぼに

いるいろいろな種類の生きものを夢中になって捕まえていました。

採取後は、各自が捕まえた生きものをバットに入れて、みんなで図鑑を使って調べ、分からないことは講師に質問するなどしました。調査の最後に講師は「田

んぼではお米を作るだけでなく生きものも同時に育てています。お米を食べ続けることで生産者の皆さんの生活を支えましょう」と児童たちに呼びかけました。



田んぼの生きものが逃げないように静かに入る児童たち



捕った生きものを観察する児童たち

News!

「親子で気ままなバスツアー」開催

県産農畜産物の安全安心・おいしさを実感

富山県本部

富山県本部は7月29日、番組提供しているFMとやまと「親子で気ままなバスツアー」を4年ぶりに開催しました。抽選で選ばれた小学生の親子11組22人と番組パーソナリティーの廣川奈美子さん、堀池真緒さんが参加しました。

バスツアーでは、食への理解を深めてもらうことを目的に、酪農牧場クローバーファームや米の保管倉庫である富山連合倉庫、(株)JALライフ富山の精米工場などを訪問しました。

午前中は、クローバーファームでの搾乳体験を通じて、牛乳の原料である生乳の生産現場を体感。同牧場の生乳を100%使用したジェラートも味わいまし

た。昼食は県産食材が盛りだくさんのバーベキューを行い、「とやま和牛酒粕さけかす育ち」や「とやまポーク」、富山米新品種「富富ふふ富」を堪能しました。午後は、連合倉庫で低温・低湿管理による米の品質保持体制を学び、精米工場の見学では、異物混入がないように徹底した管理のもとで米が製造されていることを学びました。

県本部では、今後も県産農畜産物のPRと消費拡大に取り組んでいきます。



富山連合倉庫を見学する親子ら



県産食材が盛りだくさんのバーベキュー



山形県本部と農林中金がJAを支援

営農・経済事業の収支改善に向け互いの得意分野で協力

山形県本部

山形県本部と農林中央金庫山形支店は、JAさがえ西村山の営農・経済事業収支改善プログラムに連携して取り組んでいます。

プログラムは組合員への対応強化や営農・経済事業の収益力向上によるJAの

経営基盤強化を図るため、事業分析や課題の「見える化」を行うものです。課題に対する改善策はJA自身が

検討・実施し、全農と農林

中金は実行に向けた体制づくりのサポートなどを行います。

JAの収支構造を分析して収支改善に向け対応する農林中金の「JA営農・経済事業の成長・効率化プログラム」に、JAの営農・経済

事業が抱える個別課題や県域・広域課題の事業実態を詳細に把握し対応

する全農の「JA総合分析・事業活性化プログラム」の視点を加えて取り組んでいます。

今後は各事業の課題を洗い出すため、JA担当責任者へのインタビューや分析を行い、10月までに

施策の検討・計画を策定する予定です。



プロジェクトのキックオフミーティングに参加した山形県本部、農林中金の代表者ら

を策定する予定です。

第2回全農全日本中学生カーリング選手権大会

「青森CA」が優勝、昨年のメンバーでリベンジ果たす

広報・調査部

全農は7月29、30日に新潟県新潟市のMGC三菱ガス化学アイスアリーナで開催された「第2回全農全日本中学生カーリング選手権大会」に特別協賛しました。準優勝した昨年と同じメンバーで出場した「青森CA」が優勝し、見事リベンジを果たしました。

大会には全国から8チーム36人の中学生選手が出場し、全16試合の熱戦を繰り広げました。開会式前には2023年世界ジュニアカーリング選手権女子準優勝スキップの三浦由唯菜選手が食事やトレーニングなどをアドバイスする講習会を実施しました。

大会には全国から8チーム36人の中学生選手が出場し、全16試合の熱戦を繰り広げました。開会式前には2023年世界ジュニアカーリング選手権女子準優勝スキップの三浦由唯菜選手が食事やトレーニングなどをアドバイスする講習会を実施しました。

表彰式では、新潟県本部の安藤稔県本部長が1位から3位までのチームに新潟県産米「新之助」と「いがた和牛」を副賞として贈呈しました。

選手控室には「もぐもぐブース」を設置。出場選手へ試合前後でのエネルギー補給用の食材を提供し、出場する選手と大会を「ニッポンの食」で応援しました。

決勝大会の様子は長野五輪に出場した大澤明美さんの解説で「日刊スポーツ」YouTubeアカウントで配信中です。



第2回全農全日本中学生カーリング選手権に出場した選手たち



全国から集まった選手たちが熱戦を繰り広げた

仙台市内の専門学校生が農業を体験

パティシエやシェフめざし素材の大切さを学ぶ

全農東北プロジェクト

猛暑の中、イチゴの苗運びに励む学生たち



猛暑の中、イチゴの苗運びに励む学生たち

への理解を深める貴重な機会となりました。この体験を生かして、食材を大切に、おいしさを追求できる人材に成長することを期待しています。

学生たちは、7月17日と25日の2日間、宮城県山元町の(株)やまもとファームみらい野の協力で、猛暑の中、主力品目イチゴの苗パレットを育苗温室から冷蔵庫に移動する作業や、サツマイモ畑の雑草処理、タマネギの選別とジャガイモの収穫作業を体験しました。

全農東北プロジェクトは仙台スィーツ&カフェ専門学校(三幸学園)の1年生150人を対象に、農作物生産の作業過程を学び、収穫の喜びを体験するアグリ実習を実施しました。

下水再生リンの肥料利用で連携協定

横浜市・JA横浜と開発・製造・供給へ

神奈川県本部



協定書に調印した(左から)JA横浜の柳下健一代表理事組合長、横浜市の山中竹春市長、神奈川県本部長根本芳明県本部長

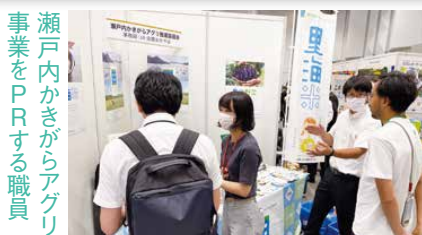
横浜市では現在、下水汚泥からリンを回収する施設の導入を進めており、連携協定は回収したリン(再生リン)を配合した肥料の開発・製造や流通・利用促進を目的に締結されました。横浜市は再生リンの供給、県本部は再生リン配合肥料の商品化、JA横浜は再生リン配合肥料の普及・啓発をそれぞれ担います。今後は、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に向けて取り組みを進め、肥料の国産化への貢献による食料安全保障の強化や、循環型農業の構築をアピールしていく予定です。

神奈川県本部は7月27日、横浜市、JA横浜と「下水再生リンの肥料利用促進に関する連携協定」を締結しました。

瀬戸内かきがらアグリ事業をPR

おかやまSDGsフェアに先進的な取り組みが集結

岡山県本部



瀬戸内かきがらアグリ事業をPRする職員

岡山県本部は、今後も同事業の認知拡大を目指し、さらなるPRに努め、環境保全活動に取り組みます。

岡山県本部が事務局を務める瀬戸内かきがらアグリ推進協議会は、8月2、3日に岡山市で開催された「おかやまSDGsフェア2023」に参加し、瀬戸内かきがらアグリ事業をPRしました。

おかやまSDGsフェアは、岡山県におけるSDGs(持続可能な開発目標)への先進的な取り組みを一堂に集め、学びと交流機会の創出、国内外に向けての情報発信を目的に開催されたイベントです。SDGsに取り組み企業など145のブースが出店し、2日間で約4800人が訪れました。

同協議会は、ブースを訪れた来場者に里海米「きぬむすめ」2合(約300g)パックを無料配布し、里山と里海のつながりの大切さを発信する同事業について説明しました。

「飛騨牛メガ盛り」が大好評

JAタウンで2年連続1位に

JAひだの管内である飛騨地域は岐阜県の北部に位置し、北アルプスなどの高い山々に囲まれ、白川郷・飛騨高山・下呂温泉といった観光地を擁する地域です。



昨年の和牛能力共進会では飛騨牛が上位入賞

飛騨の米や野菜、果物などは昼夜の寒暖差、冷涼な気候、清らかな水など、飛騨特有の自然の恵みを受け育てられています。中でも、飛騨が誇る日本屈指の銘柄牛である「飛騨牛」は、肉質がきめ細やかで柔らかく、美しい霜降りと豊潤な味わいで、全国の消費者から人気があります。昨年鹿児島県で開催された和牛能力共進会でも上位入賞を果たすなど、生産者や関係機関が一丸となって飛騨牛の発展に取り組んでいます。

お値打ちな価格で幅広い年齢層に人気

今年5月、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」で、評価の

高かったシヨップや売れ筋商品をまとめた「JAタウンアワード2022」の結果が発表され、お肉部門でJAひだの「飛騨牛メガ盛り」が2年連続で1位に輝きました。

「飛騨牛メガ盛り」は、焼き肉用の切り落とし肉。大きさは不ぞろいですが、複数の部位を1口盛り込み、お値打ちな価格とインパクトが特徴の商品のため、バーベキューや焼き肉パーティー用などイベント性の高い商品としてファミリー層に人気があります。もともとコロナ禍の「おうちで」ブームを受け、若年層をターゲットに発売しましたが、お得感からネット上での商品レビューを多く獲得し、

JAひだ (岐阜県)



| 概要 | 2023年3月31日現在 |
|---------|-----------------------------|
| 正組合員数 | 1万3666人 |
| 准組合員数 | 2万1842人 |
| 職員数 | 849人(臨時含む) |
| 販売品取扱高 | 208億5千万円 |
| 購買品取扱高 | 163億7千万円 |
| 貯金残高 | 3175億6千万円 |
| 長期共済保有高 | 6649億3千万円 |
| 主な農産物 | トマト、ホウレンソウ、肉牛(飛騨牛)、米(コシヒカリ) |



JAタウンアワードで2年連続1位となった「飛騨牛メガ盛り」

そこから幅広い年齢層に人気広がりました。現在は、リピート購入が増加し、リピーターからの根強い支持が連続受賞につながりました。

インバウンド需要にカット技術でも魅せる

観光地でもある飛騨地域



観光客へのアピールのためカットで魅せる精肉研修会に参加

には、年間300万人もの観光客が訪れます。JAひだでは、インバウンド需要にも対応できる精肉づくりを目指し、カットで魅せる精肉研修会に参加するなど、品質が良くおいしい飛騨牛を全国の消費者に届けるため取り組んでいます。

「精米事業」「酒米事業」「炊飯事業」を九州から東北エリアまで広域に展開

全農パールライス(株)は、九州から東北エリアまで16都府県を事業拠点として、主力となる「精米事業」を柱に、「酒米事業」「炊飯事業」の三つの事業を展開しています。「おいしいごはんをみんなのもとに」の思いのもと、全国の生産者が大切に育てた米を安心・安全でおいしく食べてもらうために、責任とプライドを持って製造・加工・販売に取り組んでいます。

【広報・調査部】



炊飯米・加工品や関連商品
輸出事業も重点に拡大へ

1972年に東京石川米穀(株)として誕生し、パールライス事業の再編を経て、2014年に東西パールライス会社が合併し、大消費地の営業・精米販売拠点を一体的に運営する全農パールライスが誕生しました。さらに、19年に福岡と大分、22年に岡山と福島のパールライス事業の再編が進み、北部九州・中国東北エリアの販売体制を強化しました。経営理念である「国産米の販売を通じ日本の『食』と『農』への貢献」を実現するため、産地との関係強化に努めな

ら、精米販売の拡大に取り組むとともに、全国の酒造メーカーからの受託とう精、炊飯米、炊飯加工品等の取り扱い拡大、さらに輸出事業、バックご飯などの米関連商品の開発などに取り組んでいます。

また、米の消費量の減少を背景に、パールライスの認知度アップに向けての食育活動や若い世

代への情報発信にも力を入れています。22年2月には公式ツイッター(現X)を開設し、公式キャラクター「こめつぶ丸」とSNSを活用した取り組みを行っています。さらにJAとのコラボキャンペーンの実施や、産地の特色や魅力を紹介し、地域の活性と米の消費拡大を目指して活動しています。



地域紹介の投稿例



JAとのコラボキャンペーン

米粉や冷凍米飯を事業化 元気な産地づくりを応援

日本では、人口減少や食生活の変化に伴い、米の需要量が毎年10万ト規模で減少しています。さらに、末端での販売競争も厳しく、物価高が続く中、他の加工食品と違って、米の価格はコストを反映しにくい環境にあります。特に生産段階における生産資材の高騰は、米作りの継続そのものに影響しかねない状況となっています。

そうした中、米の消費拡大のみならず、付加価値のより高い商品を開発するため、主力の精米事業、酒米事業、炊飯事業に

加えて米加工品の取り扱い拡大を目指し、23年度に食品事業開発課を新設しました。

食品事業開発課では、既存分野としてのパックご飯の取り扱い拡大に加え、新たな展開として米粉や冷凍米飯の事業化を検討しています。パックご飯の取り扱い拡大については、全農と一体となつて、新工場稼働を控えるJ A全農ラドファ(株)との商品開発や販売推進に取り組んでいます。

米粉はウクライナ情勢などによる輸入小麦の高騰を受け、パンや麺類などでの活用が期待されており、当社では原料(品種)と製法にこだわった米粉製品を開発し小麦粉に替わる米粉の取り

扱い拡大を進めます。また、千葉炊飯工場で製造している米飯商品を生かした冷凍米飯類の商品開発を進め、精米・米加工品の総合提案を推進します。

これら米加工品の取り扱い拡大により、元気な産地づくりに寄与していきたいと考えています。



パックご飯

米粉シフォンケーキ

「2030ビジョン」もとに 米の総合食品企業めざす

代表取締役社長
中野 吉庸氏



全農パールライスは、東・西日本パールライス会社が合併して本年10月で丸9年を迎えます。これまでの間にも福岡・大分・岡山・福島の県域パールライス事業との再編を通じて消費地を中心に16地域の事業が統合し、取扱高も1000億円超の事業規模となりました。昨年、社内に掲げた「2030ビジョン」に沿って、精米販売事業、酒米とう精事業、炊飯事業の拡大はもちろんのこと、米関連商品取り扱いの強化を図り、米取り扱いの総合食品企業となるよう取り組みます。

昨年は会社創立50周年を、また本年はパールライスブランド50周年を迎える中、JAグループ米穀卸会社として、これまでの信用を基にあらためてブランド確立に取り組み、生産者とお客さまに信頼される企業となるよう精進いたします。

会社の概要 (2023年3月31日現在)

- 本社所在地** 東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル3階
- 事業内容** 米穀のとう精・販売、酒造用米穀のとう精、炊飯事業、食品等の販売
- 設立年月日** 1972(昭和47)年10月9日
- 代表者** 代表取締役社長 中野吉庸
- 従業員数** 717人



本社受付(東京都千代田区)

公式ホームページ
はこちら



<https://www.zpr.co.jp/index.html>

全農パールライス詰め合わせセット(新米2kg2種&パックご飯180g×3個)を5名様にプレゼントします。

応募方法

2次元コードを読み取り、郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、全農グループ会社探訪の感想をご記入の上、ご応募ください。

締め切り

2023年9月15日(金)
23時59分

応募は
こちらから



※画像はイメージです。お米の品種は変更になる可能性があります。

※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

イオンモール広島祇園で夏野菜フェア

3-R商品の「循環野菜」でトートバッグ作り体験会も

広島県本部はイオンモール広島祇園と8月1~31日、「HIROSHIMA夏野菜フェア」を開催しました。1~3日は同モール内で「3-R野菜スタンプ トートバッグ作り」体験会を行い、大いに盛り上がりを見せました。【広島県本部】

フェアでは、3-R商品の「循環野菜」トマト、ミニトマト、ナス、ピーマンを使ったオリジナルメニューをモール内の4店舗で販売しました。ナスをふんだんに使ったカレーやトマトの酸味がアクセントの冷製パスタなど夏にぴったりのラインアップとなりました。

トートバッグ作り体験会には、3日間で親子60組が参加しました。スタンプには「循環野菜」のジャガイモ、アスパラガス、ピーマン、タマネギのへたなどを使い、オリジナルのトートバッグを作りました。参加した親子からは「3-Rマークを見つけたら買ってみたい」との声が上がりました。



限定メニュー「トマト入り! スパイスチキンスープカレーライス」



オリジナルトートバッグを持ち笑顔を見せる親子

3-Rと「循環野菜」についてはこちらから



「フルーチェ 清見オレンジ&温州みかん」を新発売

ハウス食品 × ニッポンエール コラボした期間限定商品

全農は、ハウス食品グループ本社(株)と連携し、「フルーチェ 清見オレンジ&温州みかん」を共同開発しました。9月4日より全国の量販店などで、期間限定で発売します。

【営業開発部】

ハウス食品との初コラボ商品として、和歌山県産の清見オレンジ果汁と温州ミカン果肉を使用した「フルーチェ 清見オレンジ&温州みかん」を共同開発しました。JA紀南が供給した和歌山県産清見オレンジ果汁を使用した、かんきつの爽やかなおいしさを楽しめるフルーチェです。

和歌山県産の清見オレンジと温州ミカンの味わいに魅力を感じる方や、甘さ控えめのさっぱりしたフルーチェが食べたい方にぜひ食べてもらいたい商品です。

全農は今後も他企業と連携し、「ニッポンエール」における商品化の取り組みを全国の産地・品目に拡大していきます。



フルーチェ 清見オレンジ&温州みかん



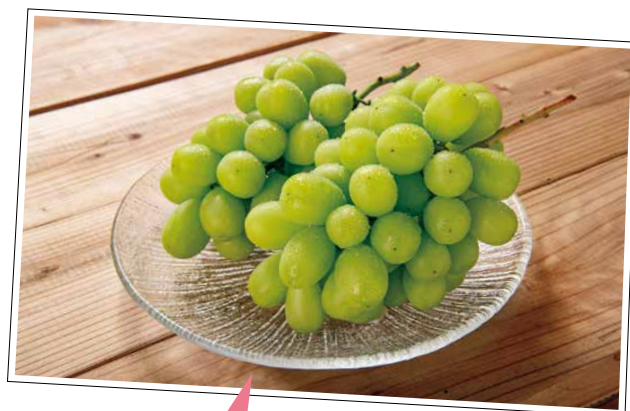
JA全農の産地直送通販サイト

JAタウン ショップ紹介

JA全農おおいた

種なしで皮ごと食べられる人気のブドウ「シャインマスカット」です。大分県では2008年から宇佐市安心院町を皮切りに、県内各産地で導入が始まり、現在も生産面積が拡大しています。

大分の「シャインマスカット」は6月下旬の加温栽培からスタートし、8、9月に出荷最盛期を迎えます。その特長は豊富な果汁と高い糖度、そして程よいバランスの酸味です。果皮が薄いので、口にしたときに「パリッ」とした心地よい歯触りを感じられるのも魅力です。



シャインマスカット1kg(大分県産)……4800円(税込み)

▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com

ご注文はこちらから

